

新最終処分場施設整備に伴う周辺環境整備施設について

1 趣旨

本市の新たな一般廃棄物最終処分場の施設整備を美杉町下之川地内において進めています。

美杉地域は、緑豊かな自然に恵まれるとともに歴史的、文化的資源も豊富な地域ですが、近年の社会、生活環境等の変化に伴い少子高齢化と過疎化が深刻な状況となっており、将来にわたって健全な状態で地域コミュニティなどを維持していくことが求められている地域です。

津市総合計画（後期基本計画）では、南部エリアとする美杉地域において、健康で暮らせる自然と歴史の地域づくりを目標に掲げ、健康で元気な人づくりなどに取り組むこととし、また、津市過疎地域自立促進計画では、美杉地域における生活環境の整備として、新最終処分場施設の建設と共に周辺コミュニティ施設の整備などを行うことにより、市民が集うことのできる環境の整備を進め、地域の活性化につなげていくとしています。

こうした中、新最終処分場施設建設候補地の公募要件とした同施設周辺地域のまちづくりについて、地元地域では、住民の交流促進の場、高齢化に伴う地域密着型介護サービスの場の整備が求められています。

これらの状況を踏まえ、新最終処分場施設整備に伴う周辺環境整備施設として、美杉町下之川地域において住民交流施設等の整備を図ります。

2 施設整備の基本的な考え方

美しい森林や里山など豊かな自然環境の中で、人と人とのつながりを大切にした心豊かな地域コミュニティの形成をめざし、諸計画や地域の意向を踏まえ、交流促進、健康増進、地域福祉の視点から地域のまちづくりを図ることとし、これらの拠点施設として、次の施設整備を図ります。

(1) 整備施設

ア 住民交流施設

地域に暮らし、地域を支える人々が集うことのできる交流促進の場として、また、自然豊かな環境の中で人々が憩える健康増進の場として、集会機能、温浴機能を備えた住民交流施設の整備を図ります。

イ 地域密着型介護サービス施設

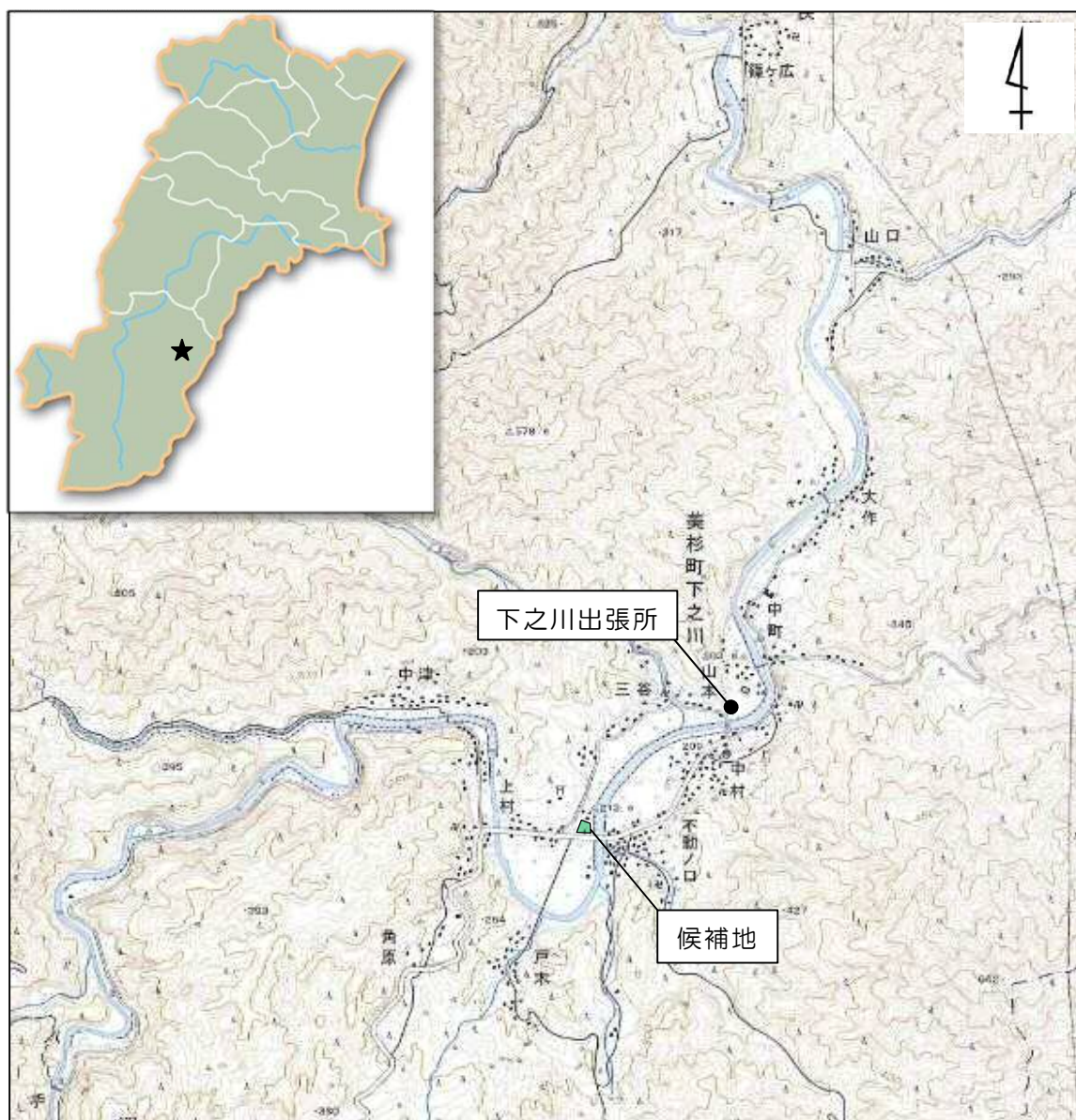
高齢者が住み慣れた地域で継続して生活できるようにするための小規模多機能型居宅介護施設の整備を図ります。

なお、当該施設は、住民交流施設と同一敷地において、事業者の公募による民設民営施設とします。

(2) 候補地の選定

候補地の選定に当たっては、新最終処分場施設建設地である美杉町下之川地内において、住民交流施設等としての効果的な施設利用を図るため、交通アクセスが容易なこと、敷地形状が平坦であること、防災面で危険区域でないこと、ライフラインが整備されていること、法的規制が少ないことなどの要件を踏まえ、図1のとおり候補地を選定しました。

図1 候補地位置図



3 施設の概要

(1) 全体概要

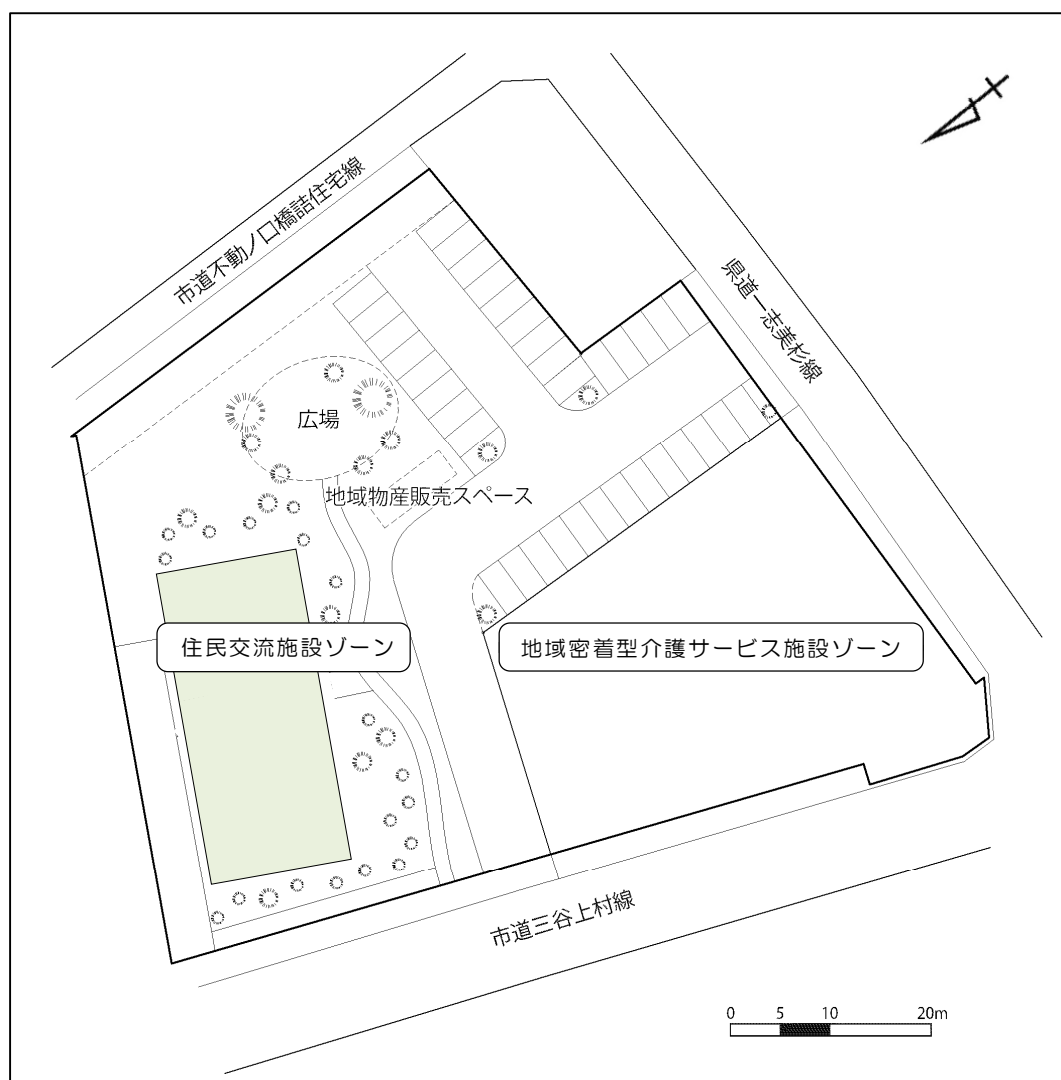
住民交流施設及び地域密着型介護サービス施設の整備範囲の区分は、表1のとおりです。

また、施設整備構想図（配置図）は、図2のとおりです。

表1 施設整備範囲の区分

区 分	敷地面積	摘 要
住民交流施設ゾーン	3,500 m ²	住民交流施設、駐車場、広場
地域密着型介護サービス施設ゾーン	1,200 m ²	小規模多機能型居宅介護施設
計	4,700 m ²	

図2 施設整備構想図（配置図）



(2) 住民交流施設の概要

周辺環境との調和やユニバーサルデザインに配慮した木造（又は木質）平屋建てとし、玄関、ホール、集会室、温浴場、トイレなどを備えた施設とします。

(3) 地域密着型介護サービス施設の概要

周辺環境や住民交流施設との調和に配慮した施設として、事業者が小規模多機能型居宅介護施設を整備することとします。

4 整備スケジュール

平成 26 年度 設計業務、用地買収、造成工事（約 8 千万円）

平成 27 年度 建築工事（約 2 億 1 千万円）

平成 28 年度 供用開始